

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 シンフォニアテクノロジー株式会社
コード番号 6507 URL <https://www.sinfo-t.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 新一

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 総務秘書グループ長 (氏名) 中村 達也

TEL 03-5473-1800

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	46,792	4.6	2,922	21.2	3,363	22.9	2,337	23.3
2023年3月期第2四半期	49,054	22.7	3,709	129.7	4,360	160.7	3,047	174.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,563百万円 (26.9%) 2023年3月期第2四半期 2,807百万円 (150.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	82.89	
2023年3月期第2四半期	108.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	127,834	64,045	50.1
2023年3月期	127,321	62,608	49.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 64,045百万円 2023年3月期 62,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		75.00	75.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	8.1	8,700	25.2	9,000	25.0	6,200	23.4	219.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	29,789,122 株	2023年3月期	29,789,122 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,594,173 株	2023年3月期	1,593,904 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	28,195,077 株	2023年3月期2Q	28,191,367 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2024年3月期2Q 167,500株、2023年3月期 167,500株)が含まれております。また、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期2Q 167,500株、2023年3月期2Q 171,900株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、連結業績予想についての事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2023年11月30日(木)にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。四半期決算説明会資料については、四半期決算説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

※ (別添資料) 2024年3月期〔2023年度〕 第2四半期決算補足説明資料(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における当社グループを取り巻く経営環境は、2022年度後半より続く半導体業界の在庫調整や中国市場の停滞等の影響により、半導体製造装置や電子部品、FA関連分野における設備投資に依然慎重姿勢が見られ、低調に推移いたしました。

しかしながら、半導体サプライチェーンの強化に向け世界各国で行われている政策支援や、中期的には自動車をはじめとする製品群の高機能化や電動化、データセンター等の情報インフラの整備需要から、半導体関連事業の成長は続く予想されています。

当社グループは中期経営計画「SINFONIA NEW STAGE 2024」において、半導体分野を成長ドライバーと位置づけ、半導体製造装置向け搬送機器の生産能力の増強を進めるとともに、新たな需要が期待される後工程の変化への対応や半導体製造装置用のロボット及びアクチュエータ等の開発に注力してまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、受注高は536億42百万円(前年同四半期比21.8%減)、売上高は467億92百万円(前年同四半期比4.6%減)となりました。損益面につきましては、営業利益は29億22百万円(前年同四半期比21.2%減)、経常利益は33億63百万円(前年同四半期比22.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億37百万円(前年同四半期比23.3%減)となりました。

なお、当社グループの事業構造として、公共・社会インフラ等の設備関連機器の売上が第2四半期(7～9月)及び第4四半期(1～3月)に集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節的変動があります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

モーション機器事業は、半導体製造装置メーカーの在庫調整により、半導体製造装置用アクチュエータが減少したことから、受注高は188億21百万円(前年同四半期比5.9%減)となりました。受注全体では減少したものの、防衛予算の増加や基幹ロケットの打ち上げ準備加速等により、航空宇宙関連機器の受注は前期比で増加しております。

売上高は、コロナ後の経済活動正常化が進み、アミューズメント用プリンタや建設車両用電装品の需要が回復したことから、180億81百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加と航空宇宙関連機器の採算改善により、営業利益は10億88百万円(前年同四半期比65.0%増)となりました。

パワーエレクトロニクス機器事業は、受注高は137億54百万円(前年同四半期比25.5%減)となりました。受注高は前期と比較し減少しておりますが、前期の社会インフラ関連の大口受注を除いたベースでは、EV需要が旺盛な自動車用試験装置が好調であり、前期比で増加しております。

売上高は、海外における食品関連の設備投資が減速している振動機器は減少したものの、脱炭素や新エネルギー活用に向けた投資が活発化しているLNG搬送ポンプ用モータ等の産業用機器、自動車用試験装置の増加、及び航空機用整備電源の増加により、100億76百万円(前年同四半期比16.2%増)となりました。損益面につきましては、振動機器の売上高減少の影響はあったものの、営業利益は1億25百万円(前年同四半期比0.8%増)となりました。

クリーン搬送システム事業は、国内外の半導体製造装置メーカーの需要が低調に推移していることから、受注高は98億17百万円(前年同四半期比46.0%減)となりました。

売上高は101億5百万円(前年同四半期比34.7%減)となり、損益面につきましては、売上高の減少により営業利益は11億40百万円(前年同四半期比64.2%減)となりました。

エンジニアリング&サービス事業は、病院向け設備工事の減少により受注高は112億49百万円(前年同四半期比6.0%減)となりましたが、国内外の半導体メーカーの新設工場の搬送設備工事を相次いで受注しております。

売上高は官需向け電気設備工事や、台湾での半導体製造工場向け搬送設備工事の増加により、85億29百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加により営業利益は5億90百万円(前年同四半期は営業損失1億85百万円)となりました。

2022年10月1日に実施した組織改編に伴い、従来「パワーエレクトロニクス機器事業」に含まれていた「クリーン搬送システム事業」を報告セグメントとして記載しております。また、「サポート&エンジニアリング事業」は「エンジニアリング&サービス事業」に名称変更しております。前年同四半期の比較数値は、変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,278億34百万円となり、前連結会計年度末より5億12百万円増加いたしました。これは、主として建物及び構築物が29億35百万円、投資有価証券が15億37百万円それぞれ増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が39億81百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は637億89百万円となり、前連結会計年度末より9億23百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が36億53百万円、未払法人税等が12億85百万円それぞれ減少したこと、借入金が増加した33億26百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は640億45百万円となり、前連結会計年度末より14億36百万円増加いたしました。これは、その他有価証券評価差額金が10億74百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が2億9百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、モーション機器事業の航空宇宙関連機器及びエンジニアリング&サービス事業での工事・サービスの採算改善、加えて円安の影響もあり、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から営業利益87億円、経常利益90億円、親会社株主に帰属する当期純利益62億円に上方修正いたします。

半導体業界の本格的な需要回復ははまだ不透明であり、中国市場の設備投資停滞も継続するとの観測から、依然厳しい状況が続くと予想されます。しかしながら、半導体需要の一部は底を脱したとも言われており、世界各国の半導体サプライチェーンの強化に向けた政策支援や、5G通信の本格的普及、生成AIのブレイクスルーによるデータセンター等の情報インフラの整備需要により、半導体関連事業は再び成長軌道に戻ると予想されています。

中期経営計画「SINFONIA NEW STAGE 2024」においても、半導体分野を成長ドライバーと位置づけ、顧客への新製品の提案を加速しており、当社グループのもう一段の業績拡大に結び付くものと考えております。

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	100,000	8,000	8,000	5,600	198.63
今回修正予想 (B)	100,000	8,700	9,000	6,200	219.90
増減額 (B-A)	—	700	1,000	600	—
増減率 (%)	—	8.8	12.5	10.7	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	108,808	11,625	11,997	8,098	287.24

(注) 業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,494	9,437
受取手形、売掛金及び契約資産	37,331	33,349
商品及び製品	2,467	2,281
仕掛品	9,582	10,531
原材料及び貯蔵品	14,725	14,738
その他	777	645
貸倒引当金	△80	△95
流動資産合計	74,297	70,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,936	13,872
土地	14,619	15,125
その他（純額）	7,278	6,456
有形固定資産合計	32,834	35,454
無形固定資産	1,366	1,087
投資その他の資産		
投資有価証券	12,039	13,576
その他	6,913	6,897
貸倒引当金	△130	△71
投資その他の資産合計	18,822	20,403
固定資産合計	53,024	56,945
資産合計	127,321	127,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,820	17,167
短期借入金	7,360	9,570
1年内返済予定の長期借入金	2,981	3,123
未払法人税等	1,955	669
製品保証引当金	395	545
受注損失引当金	324	267
その他	12,255	12,423
流動負債合計	46,093	43,766
固定負債		
長期借入金	11,617	12,592
役員退職慰労引当金	123	—
役員株式給付引当金	100	124
環境対策引当金	8	—
退職給付に係る負債	3,056	3,034
その他	3,712	4,270
固定負債合計	18,619	20,022
負債合計	64,713	63,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,156	10,156
資本剰余金	452	452
利益剰余金	40,242	40,452
自己株式	△1,955	△1,956
株主資本合計	48,896	49,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,933	7,007
繰延ヘッジ損益	△3	△22
土地再評価差額金	3,913	3,913
為替換算調整勘定	683	1,025
退職給付に係る調整累計額	3,185	3,014
その他の包括利益累計額合計	13,712	14,939
純資産合計	62,608	64,045
負債純資産合計	127,321	127,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	49,054	46,792
売上原価	37,600	36,219
売上総利益	11,454	10,572
販売費及び一般管理費	7,744	7,650
営業利益	3,709	2,922
営業外収益		
受取利息及び配当金	206	225
為替差益	544	260
その他	73	87
営業外収益合計	823	573
営業外費用		
支払利息	68	73
その他	104	59
営業外費用合計	173	132
経常利益	4,360	3,363
税金等調整前四半期純利益	4,360	3,363
法人税等	1,312	1,026
四半期純利益	3,047	2,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,047	2,337

四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,047	2,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△579	1,074
繰延ヘッジ損益	—	△19
為替換算調整勘定	452	342
退職給付に係る調整額	△112	△170
その他の包括利益合計	△239	1,226
四半期包括利益	2,807	3,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,807	3,563
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モーション 機器	パワー エレクトロ ニクス機器	クリーン 搬送 システム	エンジニア リング &サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,276	8,668	15,477	7,631	49,054	—	49,054
セグメント間の 内部売上高又は振替高	154	280	—	2,036	2,471	△2,471	—
計	17,431	8,949	15,477	9,668	51,526	△2,471	49,054
セグメント利益 又は損失(△)	659	124	3,188	△185	3,787	△78	3,709

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モーション 機器	パワー エレクトロ ニクス機器	クリーン 搬送 システム	エンジニア リング &サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,081	10,076	10,105	8,529	46,792	—	46,792
セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	305	0	2,295	2,677	△2,677	—
計	18,157	10,381	10,106	10,824	49,469	△2,677	46,792
セグメント利益 又は損失(△)	1,088	125	1,140	590	2,945	△22	2,922

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

2022年10月1日に実施した組織改編に伴い、従来「パワーエレクトロニクス機器事業」に含まれていた「クリーン搬送システム事業」を報告セグメントとして記載しております。また、「サポート&エンジニアリング事業」につきましては「エンジニアリング&サービス事業」に名称を変更しております。その結果、従来の「モーション機器事業」、「パワーエレクトロニクス機器事業」及び「サポート&エンジニアリング事業」の3区分から、「モーション機器事業」、「パワーエレクトロニクス機器事業」、「クリーン搬送システム事業」及び「エンジニアリング&サービス事業」の4区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

2024年3月期〔2023年度〕 第2四半期決算補足説明資料(連結)

2023年11月7日
シンフォニアテクノロジー株式会社

1. 決算概要

(単位:百万円)

		2022年度	2023年度	前年同期比増減	
		第2四半期累計(A)	第2四半期累計(B)	(B)-(A)	増減率
売上高		49,054	46,792	△ 2,261	△ 4.6 %
営業利益	(%)	7.6%	6.2%	△1.4pt	
		3,709	2,922	△ 787	△ 21.2 %
経常利益	(%)	8.9%	7.2%	△1.7pt	
		4,360	3,363	△ 996	△ 22.9 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(%)	6.2%	5.0%	△1.2pt	
		3,047	2,337	△ 710	△ 23.3 %

2. セグメント別情報

(1) 売上高・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度	2023年度	前年同期比増減	
		第2四半期累計(A)	第2四半期累計(B)	(B)-(A)	増減率
モーション機器	売上高	17,276	18,081	805	4.7 %
	営業利益	659	1,088	428	65.0 %
パワーエレクトロ ニクス機器	売上高	8,668	10,076	1,407	16.2 %
	営業利益	124	125	0	0.8 %
クリーン搬送システム	売上高	15,477	10,105	△ 5,372	△ 34.7 %
	営業利益	3,188	1,140	△ 2,048	△ 64.2 %
エンジニアリング& サービス	売上高	7,631	8,529	897	11.8 %
	営業利益	△ 185	590	775	-
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	△ 78	△ 22	55	-
合計	売上高	49,054	46,792	△ 2,261	△ 4.6 %
	営業利益	3,709	2,922	△ 787	△ 21.2 %

(2) 受注高

(単位:百万円)

	2022年度 第2四半期累計(A)	2023年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
モーション機器	19,993	18,821	△ 1,172	△ 5.9 %
パワーエレクトロニクス機器	18,461	13,754	△ 4,707	△ 25.5 %
クリーン搬送システム	18,170	9,817	△ 8,353	△ 46.0 %
エンジニアリング&サービス	11,970	11,249	△ 721	△ 6.0 %
合計	68,596	53,642	△ 14,954	△ 21.8 %

(3) 受注残高

(単位:百万円)

	2022年度 第2四半期累計(A)	2023年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
モーション機器	34,308	35,949	1,641	4.8 %
パワーエレクトロニクス機器	28,392	34,381	5,988	21.1 %
クリーン搬送システム	11,971	7,649	△ 4,322	△ 36.1 %
エンジニアリング&サービス	12,521	12,808	286	2.3 %
合計	87,194	90,788	3,594	4.1 %

3. 海外売上高

(単位:百万円)

	2022年度 第2四半期累計(A)	2023年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
海外売上高	14,278	12,633	△ 1,644	△ 11.5 %
海外売上高比率(%)	29.1%	27.0%	△2.1pt	

4. キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2022年度 第2四半期累計(A)	2023年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
営業キャッシュ・フロー	△ 647	2,780	3,427	-
投資キャッシュ・フロー	△ 1,351	△ 4,088	△ 2,737	-
フリー・キャッシュ・フロー	△ 1,998	△ 1,307	690	-
財務キャッシュ・フロー	1,014	1,164	150	14.9 %
現金及び現金同等物の 期末残高	7,846	9,436	1,590	20.3 %

5. 設備投資、減価償却費及び研究開発費

(単位:百万円)

	2022年度 第2四半期累計(A)	2023年度 第2四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
設備投資	2,443	3,887	1,444	59.1 %
減価償却費	1,585	1,691	106	6.7 %
研究開発費	1,898	1,662	△ 236	△ 12.4 %